

ドラキ版

北陸新幹線開業記念
コラーレ・ドラマキッズ第16回定期公演

ぎん が てっ どう よる
銀河鉄道の夜

作・演出…ねがひ 叶



2014年5月3日(土) 開場 18:30
開演 19:00

黒部市国際文化センターコラーレ (カーターホール)

富山県黒部市三日市 20 番地
TEL:0765-57-1201 FAX:0765-57-1207 www.colare.jp/
開館時間 9:00~22:30(土曜~23:00)/ 毎週水曜休館

全席自由 一般 1,000 円 高校生以下 500 円

(当日 各 200 円高) ●この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。
●3歳以上のお子さまはチケットが必要です。

■プレイガイド

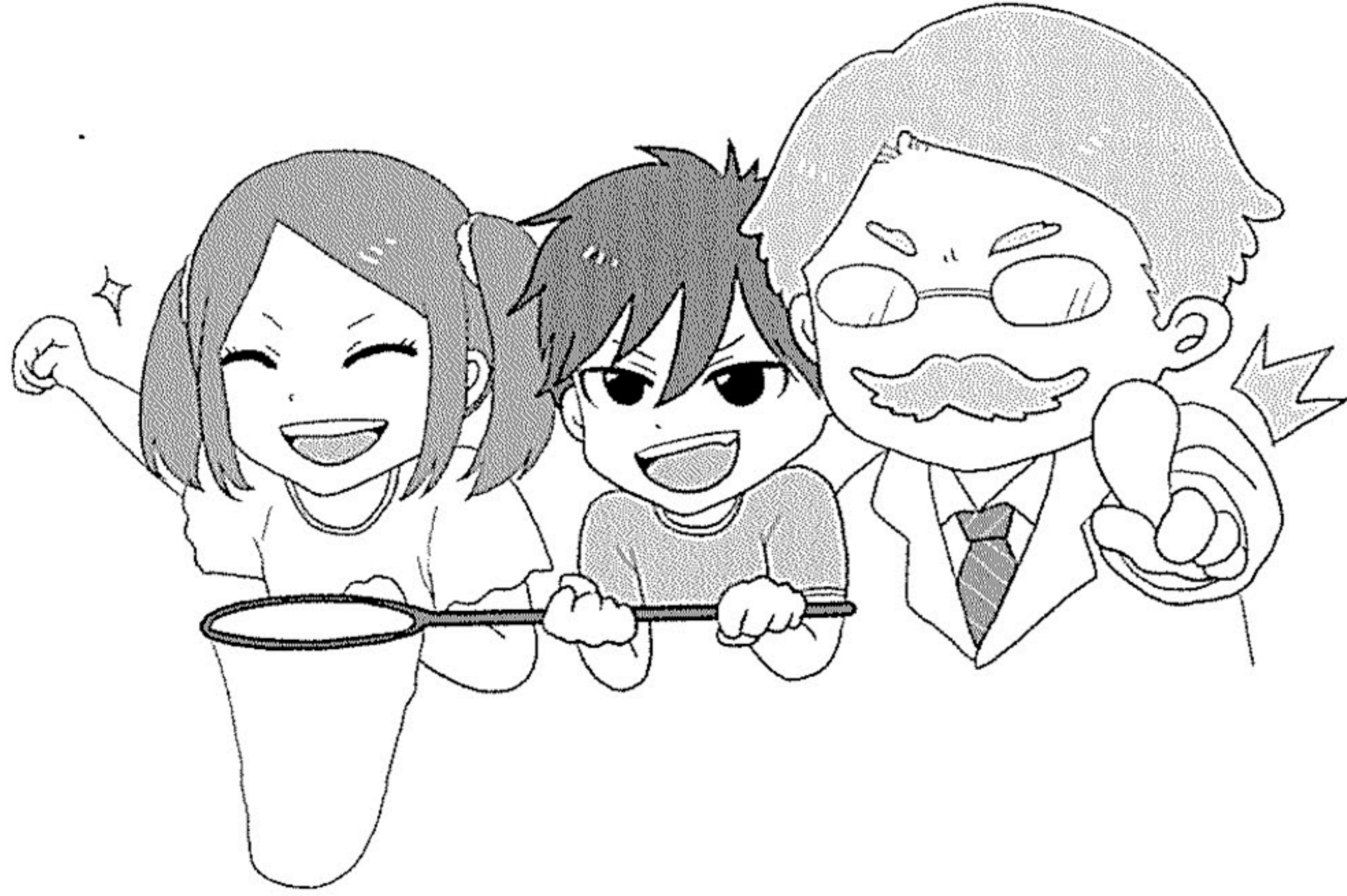
コラーレ / 黒部メルシー / 魚津サンプラザ / 入善コスモホール
アーツナビ (新川文化ホール・富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール)

■主催: 公益財団法人黒部市国際文化センター ■後援: 黒部市 黒部市教育委員会 北日本新聞社



ドラキ版

銀河鉄道の夜



作・演出：ねがひ 叶

富山・黒部の夜空には、

四季を問わず常に輝く銀河を走る銀河鉄道があるという……。

この夜も黒部の上空には浄土ゆきの銀河鉄道が走っていた。

この日、魚津の桃山辺りから最初に列車に乗り込んで来た乗客は

3人のばあちゃんたちだった。

そして、次に黒部の銀河ステーションから乗り込んで来たのは、
博士と呼ばれるおかしなおじさんとその助手だという少年と少女。

ふたりは博士の命令の元、他の乗客には見えない

何かを捕まえようと車内に補虫網を持って暴れる。

最初、博士たちの行動に首を傾げていた他の乗客も、わけがわからないまま

面白がって目に見えない何かを追いかけ始める……。

さて、この列車の行き先の「浄土」とはどこか？

乗客たちが追い求めた目に見えない「何か」とはなにか？

元気に明るく楽しく、愛と涙と笑いをドラキっぽく繰り広げます。

今回は英語の歌詞にもチャレンジします。どうぞ期待！

キャスト

コラーレ・ドラマキッズ

荒尾 怜那 荒尾 好美

柿本 遊季 島田 一嶺

島田 羽槻 白木 茉莉

城木 穂香 白崎 晶子

高橋 祐衣 谷田 絢菜

庭田 李音 長谷川 陽

森岡 わかな 森岡 たかね

柳川 知緩

柿本 弘一

木津 智子

ゲスト

加藤 恵

スタッフ

作・演出：ねがひ 叶

演技指導：木津 智子

振付指導：ニシムラヤスコ

作曲・歌唱指導：NASA

宣伝美術：島倉 瑞紀

舞台スタッフ：コラーレ・スタッフ

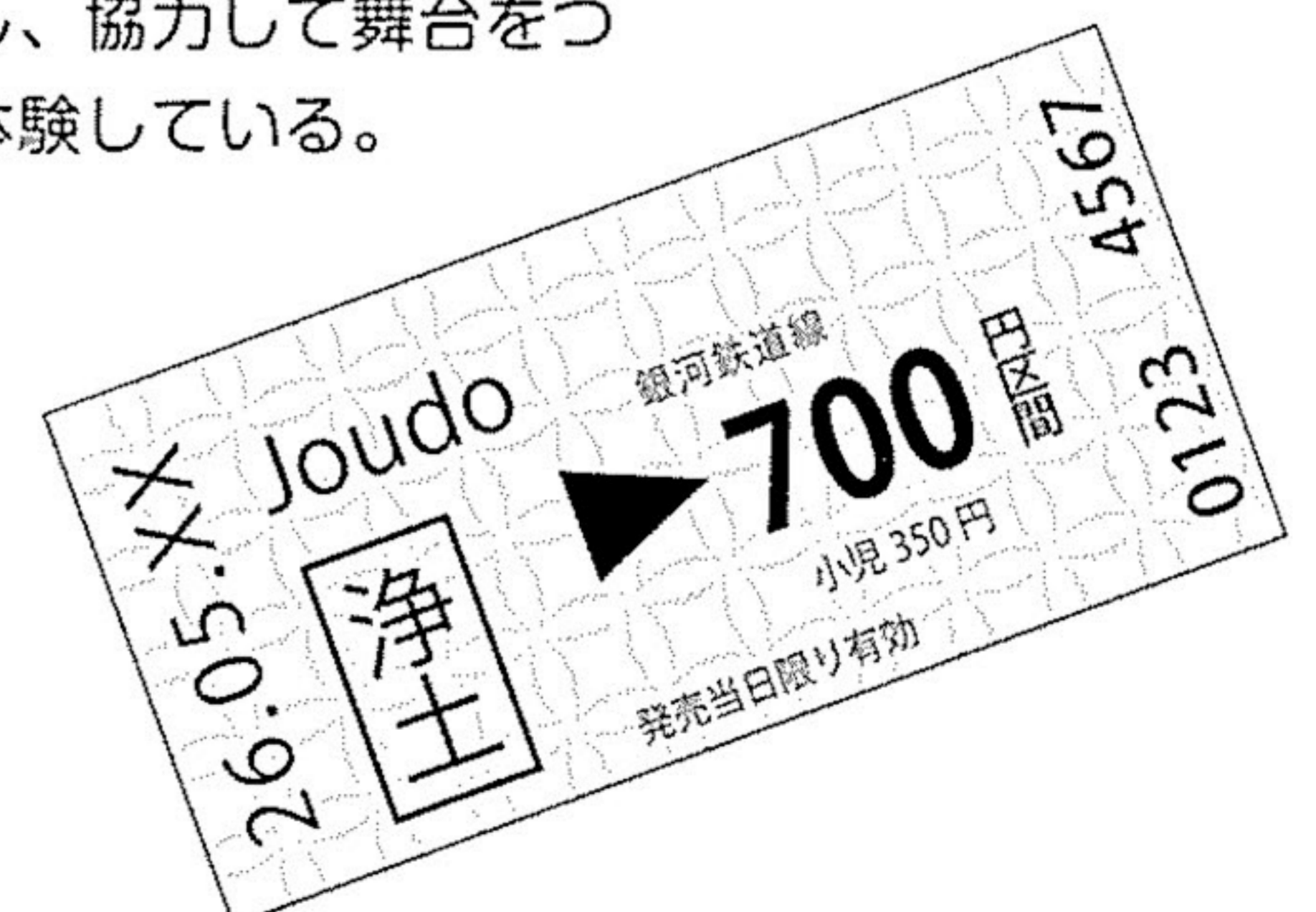
ドラマツパ（保護者会）

制作：黒部市国際文化センター



コラーレ・ドラマキッズ

コラーレの専属演劇集団として、1998年に小中学生で結成。演劇活動を通して感性や表現力を豊かにすることを目的とし、協力して舞台をつくることの素晴らしさを体験している。



コラーレ 黒部市国際文化センター コラーレ

富山県黒部市三日市 20 番地

TEL:0765-57-1201 FAX:0765-57-1207 www.colare.jp/

開館時間 9:00~22:30(土曜~23:00)/ 毎週水曜休館